

[平成21年度設置]

計画の区分：高等専門学校新設

注1

意見伺い

熊本高等専門学校

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

独立行政法人国立高等専門学校機構
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 総務課長 内山 慎一

電話番号 0965-53-1210

(夜間) 0965-53-1200

F A X 0965-53-1219

e-mail so-kacho@kumamoto-nct.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象高専等の概要等	1
	(1) 設置者	
	(2) 高専名	
	(3) 高専の位置	
	(4) 管理運営組織	
	(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等	
2	授業科目の概要	13
	(1) 八代キャンパス共通教育科	
	(2) 熊本キャンパス共通教育科	
	(3) 機械知能システム工学科	
	(4) 建築社会デザイン工学科	
	(5) 生物化学システム工学科	
	(6) 情報通信エレクトロニクス工学科	
	(7) 制御情報システム工学科	
	(8) 人間情報システム工学科	
3	施設・設備の整備状況, 経費	49
4	既設高専等の状況	51
5	教員組織の状況	52
	(1) 機械知能システム工学科	
	(2) 建築社会デザイン工学科	
	(3) 生物化学システム工学科	
	(4) 情報通信エレクトロニクス工学科	
	(5) 制御情報システム工学科	
	(6) 人間情報システム工学科	
	(7) 八代キャンパス共通教育科	
	(8) 熊本キャンパス共通教育科	
6	留意事項に対する履行状況等	53
7	その他全般的事項	56
	(1) 設置計画変更事項等	
	(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)	
	(3) 自己点検・評価等に関する事項	
	(4) 情報提供に関する事項	

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

独立行政法人 国立高等専門学校機構

(2) 高専名

熊本高等専門学校

(3) 高専の位置

(本部・八代キャンパス)

〒866-8501

熊本県八代市平山新町2627

(熊本キャンパス)

〒861-1102

熊本県合志市須屋2659-2

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(コウノ イイチロウ) 河野 伊一郎 (平成17年8月10日)	(コバタケ ヒデフミ) 小畑 秀文 (平成24年4月1日) (ハヤシ ユウジロウ) 林 勇二郎 (平成21年4月1日)	(22) 平成24年4月1日で理事長交代(24)
校長		(ミヤガワ ヒデアキ) 宮川 英明 (平成21年10月1日)	(22)
機械知能システム工学科長		(ミヤモト ヒロユキ) 宮本 弘之 (平成23年4月1日) (カワサキ コウゾウ) 河崎 功三 (平成21年10月1日)	(22) 平成23年4月1日で学科長任期満了による交代(23)
建築社会デザイン工学科長		(フジノ カズノリ) 藤野 和徳 (平成23年4月1日) (ナカムラ ユウイチ) 中村 裕一 (平成22年4月1日)	(22) 平成23年4月1日で学科長任期満了による交代(23)

生物化学システム工学科長		(コハタ ススム) 木幡 進 (平成21年10月1日)	(22)
情報通信エレクトロニクス工学科長		(マツダ トヨノリ) 松田 豊稔 (平成21年10月1日)	(22)
制御情報システム工学科長		(ナガタ マサノブ) 永田 正伸 (平成21年10月1日)	(22)
人間情報システム工学科長		(オヤマ ヨシフミ) 小山 善文 (平成21年10月1日)	(22)
八代キャンパス 共通教育科長		(クボタ サトシ) 久保田 智 (平成22年4月1日)	(22)
熊本キャンパス 共通教育科長		(ハッタ シゲキ) 八田 茂樹 (平成21年10月1日)	(22)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
	年	人	年次 人	人	
機械知能システム工学科	5	40	—	200	
建築社会デザイン工学科	5	40	—	200	
生物化学システム工学科	5	40	—	200	
情報通信エレクトロニクス工学科	5	40	—	200	
制御情報システム工学科	5	40	—	200	
人間情報システム工学科 (準学士)	5	40	—	200	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

機械知能システム工学科

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人	0人	40人	0人	40人	0人	人	人	人	人	人	人	1.06倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
志願者数	92	-	92	-	94	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	()	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]	[-]		
受験者数	90	-	91	-	94	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	()	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]	[-]		
合格者数	43	-	43	-	43	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	()	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]	[-]		
B 入学者数	43	-	43	-	42	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	()	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]	[-]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.07		1.05									

建築社会デザイン工学科

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人	0人	40人	0人	40人	0人	人	人	人	人	人	人	1.07倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
志願者数	65	-	77	-	55	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	()	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]	[-]		
受験者数	64	-	76	-	55	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	()	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]	[-]		
合格者数	45	-	44	-	43	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	()	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]	[-]		
B 入学者数	43	-	43	-	43	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	()	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[]	[-]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.07		1.07									

生物化学システム工学科

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人	0人	40人	0人	40人	0人							1.05倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
志願者数	118	-	88	-	91	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	117	-	86	-	91	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	42	-	42	-	42	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	42	-	42	-	42	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	1.05		1.05		1.05									

情報通信エレクトロニクス工学科

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人	0人	40人	0人	40人	0人							1.07倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	()	()		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
志願者数	94	-	75	-	89	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	91	-	73	-	89	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	43	-	43	-	43	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	43	-	43	-	43	-								
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	()	(-)	()	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[-]	[]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.07		1.07									

制御情報システム工学科

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (-) [-]	0人	40人 (-) [-]	0人	40人 () []	0人	人 () []	人	人 () []	人	1.07倍	
志願者数	84 (-) [-]	-	66 (-) [-]	-	72 (-) [-]	-		-		-		
受験者数	82 (-) [-]	-	65 (-) [-]	-	72 (-) [-]	-		-		-		
合格者数	43 (-) [-]	-	43 (-) [-]	-	43 (-) [-]	-		-		-		
B 入学者数	43 (-) [-]	-	43 (-) [-]	-	43 (-) [-]	-		-		-		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.07		1.07							

人間情報システム工学科

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (-) [-]	0人	40人 (-) [-]	0人	40人 () []	0人	人 () []	人	人 () []	人	1.05倍	
志願者数	97 (-) [-]	-	83 (-) [-]	-	84 (-) [-]	-		-		-		
受験者数	96 (-) [-]	-	81 (-) [-]	-	84 (-) [-]	-		-		-		
合格者数	44 (-) [-]	-	43 (-) [-]	-	43 (-) [-]	-		-		-		
B 入学者数	42 (-) [-]	-	42 (-) [-]	-	43 (-) [-]	-		-		-		
入学定員超過率 B/A	1.05		1.05		1.07							

(注) ・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入して下さい。

- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

機械知能システム工学科

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	対象年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	
1年次	[-]	43	[-]	43	[-]	42	[]	[]	[]	[]	平成23年1年次 退学者 1名
2年次			[-]	43	[-]	42	[]	[]	[]	[]	
3年次					[-]	43	[]	[]	[]	[]	
4年次							[]	[]	[]	[]	
5年次								[]	[]	[]	
計	[-]	43	[-]	86	[-]	127	[]	[]	[]	[]	

建築社会デザイン工学科

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	対象年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	
1年次	[-]	43	[-]	44	[-]	43	[]	[]	[]	[]	平成22年1年次 原級留置 1名 平成23年1年次 退学者 2名 平成23年2年次 退学者 1名 原級留置 4名 平成24年2年次 転学科受入 1名
2年次			[-]	42	[-]	47	[]	[]	[]	[]	
3年次					[-]	37	[]	[]	[]	[]	
4年次							[]	[]	[]	[]	
5年次								[]	[]	[]	
計	[-]	43	[-]	86	[-]	127	[]	[]	[]	[]	

生物化学システム工学科

学年	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-]	[-]	42	-	[-]	[-]	42	-	43	-	[]	[]	平成22年1年次 退学者 1名 平成23年1年次 原級留置 1名 平成23年2年次 退学者 1名 原級留置 1名	
2年次	/		[-]	[-]	41	-	[-]	[-]	42	-	[]	[]		
3年次			[-]	[-]	39	-	[]	[]	[]	[]				
4年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]						
5年次			[]	[]	[]	[]								
計			[-]	[-]	42	-	[-]	[-]	83	-	[-]	[-]		124

情報通信エレクトロニクス工学科

学年	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-]	[-]	43	-	[-]	[-]	43	-	45	-	[]	[]	平成23年1年次 退学者 1名 原級留置 2名 平成23年2年次 原級留置 2名 転学科受入 1名 転学科転出 2名	
2年次	/		[-]	[-]	43	-	[-]	[-]	43	-	[]	[]		
3年次			[-]	[-]	42	-	[]	[]	[]	[]				
4年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]						
5年次			[]	[]	[]	[]								
計			[-]	[-]	43	-	[-]	[-]	86	-	[-]	[-]		130

制御情報システム工学科

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 43	[-] -	[-] 43	[-] -	[-] 45	[-] -	[]	[]	[]	[]	平成23年1年次 原級留置 2名 平成23年2年次 退学者 1名 原級留置 5名 転学科転出 1名 平成24年2年次 転学科受入 1名 転学科転出 4名 平成24年3年次 転学科転出 5名
2年次			[-] 42	[-] -	[-] 43	[-] -	[]	[]	[]	[]	
3年次					[-] 31	[-] -	[]	[]	[]	[]	
4年次							[]	[]	[]	[]	
5年次									[]	[]	
計	[-] 43	[-] -	[-] 85	[-] -	[-] 119	[-] -	[]	[]	[]	[]	

人間情報システム工学科

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 42	[-] -	[-] 42	[-] -	[-] 43	[-] -	[]	[]	[]	[]	平成23年1年次 退学者 1名 平成23年2年次 退学者 1名 原級留置 1名 転学科受入 2名 転学科転出 1名 平成24年2年次 転学科受入 2名 転学科転出 1名 平成24年3年次 転学科受入 5名 転学科転出 1名
2年次			[-] 43	[-] -	[-] 43	[-] -	[]	[]	[]	[]	
3年次					[-] 45	[-] -	[]	[]	[]	[]	
4年次							[]	[]	[]	[]	
5年次									[]	[]	
計	[-] 42	[-] -	[-] 85	[-] -	[-] 131	[-] -	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入して下さい。
 ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

機械知能システム工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	人	0人	平成21年度	人	人		%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度 入学者	43人	0人	平成22年度	人	人		0%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	43人	1人	平成23年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学1人	2.3%
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	42人	0人	平成24年度	人	人		0%
合 計	128人	1人					0.8%

建築社会デザイン工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)	
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数			
平成21年度 入学者	人	0人	平成21年度	人	人		%	
			平成22年度	人	人			
			平成23年度	人	人			
			平成24年度	人	人			
平成22年度 入学者	43人	1人	平成22年度	人	人		2.3%	
			平成23年度	1人	0人			学力不足1人
			平成24年度	人	人			
平成23年度 入学者	43人	2人	平成23年度	2人	0人	学力不足2人	4.7%	
			平成24年度	人	人			
平成24年度 入学者	43人	0人	平成24年度	人	人		0%	
合 計	129人	3人					2.3%	

生物化学システム工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	人	0人	平成21年度	人	人		%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度 入学者	42人	2人	平成22年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学1人	4.8%
			平成23年度	1人	0人	学力不足1人	
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	42人	0人	平成23年度	人	人		0%
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	42人	0人	平成24年度	人	人		0%
合計	126人	2人					1.6%

情報通信エレクトロニクス工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	人	0人	平成21年度	人	人		%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度 入学者	43人	0人	平成22年度	人	人		0%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	43人	1人	平成23年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学1人	2.3%
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	43人	0人	平成24年度	人	人		0%
合計	129人	1人					0.8%

制御情報システム工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	人	0人	平成21年度	人	人		%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度 入学者	43人	1人	平成22年度	人	人	学力不足1人	2.3%
			平成23年度	1人	0人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	43人	0人	平成23年度	人	人		0%
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	43人	0人	平成24年度	人	人		0%
合計	129人	1人					0.8%

人間情報システム工学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	人	0人	平成21年度	人	人		%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度 入学者	42人	1人	平成22年度	人	人	その他1人	2.4%
			平成23年度	1人	0人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	42人	1人	平成23年度	1人	0人	学力不足1人	2.4%
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	43人	0人	平成24年度	人	人		0%
合計	127人	2人					1.6%

- (注)・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要（学科毎に記載）

<八代キャンパス 共通教育科>

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	国語Ⅰ	1通	2			1	1					兼1 平成23年3月31日まで専任教授が病気休職のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(24)
	国語Ⅱ	2通	2									兼1
	国語Ⅲ	3通	2				1		1			教員負担平準化のため担当者変更(24)
	国語Ⅳ	4前	1			1	1					
	世界史	2通	2				1	1		1		教員負担平準化のため担当者変更(23) 平成24年4月講師が准教授に昇任(24)
	日本史	3通	2			1	1	1				平成24年4月准教授が教授に昇任、教員負担平準化のため担当者変更(24)
	現代社会	1通	2			1	1	1				教員負担平準化のため担当者分担のため(22) 平成24年4月准教授が教授に昇任、教員負担平準化のため担当者変更(24)
	倫理B 倫理	2前	1				1					授業科目の名称変更のため(22) 「倫理」を「倫理B」とした。
	科学技術と現代社会	4後	1				2					
	数学Ⅰ	1通	6			2	1	1				教員負担平準化のため担当者変更(24)
	数学Ⅱ	2通	6			2	1	2	3			平成21年4月1日専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24)
	数学Ⅲ	3通	4			2	1	2				平成21年4月1日専任准教授が専任教授に昇任のため(22)
	多変数の微分積分学	4前	1			2	1	2				平成21年4月1日専任准教授が専任教授に昇任のため(22)
	行列式と行列の応用	4後	1			2	1	2				平成21年4月1日専任准教授が専任教授に昇任のため(22)
	化学	1通	3			1						
	総合理科Ⅰ	1通 4前	2 1			1		1	1			3 7 4 兼2 授業科目の名称、配当年次、単位数の変更に伴う担当者変更「総合理科Ⅰ」と「総合理科Ⅱ」を統合して「総合理科Ⅰ」とした。(22) 専任講師が在外研究員として不在のため担当者変更(23) 平成24年4月から授業担当教員が在外研究員から復帰(24)
必修科目	総合理科Ⅱ	4後	1			1		1				兼2 授業科目の名称、配当年次、単位数の変更に伴う担当者変更「総合理科Ⅰ」と「総合理科Ⅱ」を統合して「総合理科Ⅰ」とした。(22)
	物理Ⅰ	2通	3					1	1			兼3 専任講師が在外研究員として不在のため担当者変更(23) 平成24年4月から授業担当教員が在外研究員から復帰(24)
	物理Ⅱ	3通	2					1				3 兼2 教員負担平準化のため担当者変更(24)

一般科目	総合理科Ⅱ 総合理科Ⅲ	3前	1			+				2 兼1	授業科目の名称変更のため(22) 「総合理科Ⅲ」を「総合理科Ⅱ」とした。 教員負担平準化のため担当者変更(24)
	保健体育Ⅰ	1通	3				1	1		1 2 兼1	教員負担平準化のため担当者分 担のため(22) 非常勤講師の担当科目変更(23)
	保健体育Ⅱ	2通	2				1	1		兼1	
	保健体育Ⅲ	3通	2				+	1		3 兼1	教員負担平準化のため担当者変 更(24)
	スポーツ科学	4通	1				1	1			
	英語Ⅰ	1通	5				1	2 3		兼1	教員負担平準化のため担当者変 更のため(22) 教員負担平準化のため担当者変 更のため(24)
	英会話Ⅰ	1後	1							兼1	
	英語Ⅱ	2通	5				1 2 4	1 2		兼1	平成22年4月1日専任講師が専任 准教授に昇任のため(22) 教員負担平準化のため担当者変 更(23)
	英会話Ⅱ	2前	1							兼1	
	英語Ⅲ	3通	4				2 4	1 2			平成22年4月1日専任講師が専任 准教授に昇任のため(22)
	英語ⅣA	4前	1				1	2			
	英語ⅣB	4後	1				2 4	2 3		兼1	平成22年4月1日専任講師が専任 准教授に昇任のため(22)
	情報基礎	1通	2				1		1	兼1	教員負担平準化のため担当者変 更(23)
	基礎電気工学	2通	2				1			兼2	
	ネットワーク入門	2前	1				+	4	4	兼1	教員負担平準化のため担当者変 更、平成22年度報告の訂正(23) 教員負担平準化のため担当者変 更(24)
	基礎情報工学	2通	2				1	4		兼3	平成22年7月1日専任准教授が専 任教授に昇任のため(23)
	マイコンプログラミング入門	2後	1						4	2 兼1	平成22年度報告の訂正(23) 教員負担平準化のため担当者変 更(24)
	プログラミング基礎	3通	2				1	1 4	4	5 兼4	平成22年7月1日専任准教授が専 任教授に昇任、平成22年度報告 の訂正(23) 教員負担平準化のため担当者変 更(24)
	選択科目	日本現代文学	5通		2			1			
古典文学		5通		2		1					
経済学		5通		2			1				
哲学		5通		2			1				
健康科学 健康科学A		通 5前		2 4			1	1			
総合英語A		5前		1			1				
歴史と文化		5前		1				1			
健康科学B		5後		4			4	4			
総合英語B	5後		1				1			授業科目の名称、配当年次、単 位数の変更のため(22) 「健康科学A」と「健康科学 B」を統合して「健康科学」と した。	
社会と法	5後		1			1					
特別選択 科目	一般特別セミナー	1・2・ 3・4・5 通		4		1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入して下さい。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 37	科目 11	科目	科目 48	科目 36 [Δ1]	科目 10 [Δ1]	科目 [0]	科目 46 [Δ2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 (平成23年度該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	総合理科Ⅱ	1	1後	一般	必修	「総合理科Ⅱ」(1単位・1後)を「総合理科Ⅰ」(1単位・1前)と統合し、「総合理科Ⅰ」(2単位・1通)として授業科目名を変更したため(22)
2	健康科学B	1	5後	一般	選択	「健康科学B」(1単位・5後)を「健康科学A」(1単位・5前)と統合し、「健康科学」(2単位・5通)として授業科目名を変更したため(22)
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「熊本高専の所見」 設置認可時に付された留意事項(両キャンパス間の一般科目の受講機会のアンバランス)を改善するため、開講科目数の見直しを行ったもので、講義の内容等への影響はない。(22) 「学生への周知方法」 授業開始前に配付するシラバスで学生の周知を行った。(22)</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{95.83}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

数学Ⅱ	2	通	6	1 0	2 2	+	1 0	平成26年4月採用予定⑭で、 未着任のため准教授1名を教 授に変更 (23) 講師が准教授に昇任 (23) 平成24年4月担当助教採用 (24)
微分積分	3	通	3	1 0	1 3		1	平成24年4月担当助教採用 (24) 教員負担平準化のため担当者 を変更 (24)
線形代数	3	通	2		0 +	0 +		兼1 平成24年3月担当教授退職に 伴う担当者の変更 (24)
物理Ⅰ	2	通	3	1 0	1 +			担当者の教授昇任 (23) 高専間教員交流による准教授 着任により担当者追加 (23)
物理Ⅱ	3	通	2	1 0	1 +			担当者の教授昇任 (23) 高専間教員交流による准教授 着任により担当者を追加 (24)
化学Ⅰ	1	通	3		1 0	+		平成24年4月准教授昇任 (24)
化学Ⅱ	2	通	2	1 0	1 0	+		教員負担平準化のため担当者 を追加 (24) 平成24年4月准教授昇任 (24)
保健体育Ⅰ	1	通	3		1 2		1	平成24年3月担当准教授退職 (24) 平成24年4月担当助教採用 (24)
保健体育Ⅱ	2	通	3		1 2		1	平成24年3月担当准教授退職 (24) 平成24年4月担当助教採用 (24)
保健体育Ⅲ	3	通	2		1 2		1	

										平成24年3月担当准教授退職 (24) 平成24年4月担当助教採用 (24)
	保健体育Ⅳ スポーツ理論 生物科学	5 通 2 4 通 1 4 通 2					1 2			
	英語Ⅰ	1 通 5			1 0 1	1 0 2 1		1 0		兼2 担当予定の教授が、他学年との担当持ち上げのため、担当者を准教授に変更(22) 当初計画の教授が担当(23) 担当予定者が、他学年の担当持ち上げのため、准教授を講師に変更(23) 教員負担平準化のため担当者を変更(24)
	英語Ⅱ	2 通 5			1 0	2 1		1 0 1		他学年の担当が持ち上げのため、講師を准教授に変更(23) 平成24年3月担当講師が他高専に転出(24) 教員負担平準化のため担当者を変更(24)
	英語Ⅲ	3 通 4			0 1	1 2		1 1		兼2 平成24年3月担当講師が他高専に転出(24) 教員負担平準化のため担当者を変更(24)
	英語Ⅳ 英語Ⅴ コミュニケーション論 芸術 国際言語文化論	4 通 2 5 通 2 5 通 1 1 通 2 5 通 1					1 2 1			兼2 兼4 選択必修であったものを、必修科目へ変更(22)
	法学 経済学 哲学 社会学 国際言語文化論	4 通 4 通 4 通 4 通 5 通	2 2 2 2 1				1			兼1 兼1 兼1 兼4
	基礎科目応用第一 基礎科目応用第二 基礎科目応用第三 特別学習第一 特別学習第二	1-5通 1-5通 1-5通 1-5通 1-5通		1 1 1 1 1	1 1 1 1 1					ボランティア活動等の単位認定のため追加(23) ボランティア活動等の単位認定のため追加(23)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可

以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 30	科目 5	科目 3	科目 38	科目 33 [3]	科目 4 [Δ1]	科目 5 [2]	科目 42 [4]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<機械知能システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門	工学入門	1通	2				1			1		平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	
	応用数学	4通	2									兼1	
	応用物理	4通	2									兼1	
	情報処理 I	4前	1			1							
	情報処理 II	4後	1			1							
	技術英語	5通	2			3	1					兼1	
	機械工学概論	2後	1										教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24)
	科学技術史	3後	1				1				1		教員負担平準化のため担当者変更(24)
	製図基礎 I	1通	2					1					教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24)
	製図基礎 II	2通	2				1	1					教員負担平準化のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(24)
	ものづくり実習 I	1通	4					1		2	1		教員負担平準化のため担当者変更(24)
	ものづくり実習 II	2通	4				1		1		1		教員負担平準化のため担当者変更(23)
	数理解析	5通	2				1						
	力学基礎	3通	2					1					
	機械工作学	3通	2				1						
	材料力学	4通	2					2					
	マテリアル学	5通	2					2					
	熱力学	4通	2				1						
	流体力学	4通	2						1				
	熱流体現象論	5通	2				1	1				1	平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)
	機械力学	4通	2					1					
	計測工学	4通	2					1					
	制御工学	5通	2					1					
	電気回路	3通	2						1			1	教員負担平準化のため担当者変更(24)
	電子回路	3通	2						1				兼1 教員負担平準化のため担当者変更(24)
	電気磁気学	4通	2										兼1
	機械設計製図 I	3通	2				1	1				1	平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)
	機械設計製図 II	4通	2					1					
	総合設計	5通	2				1						
	総合実習 I	3通	2				3	2					教員負担平準化のため担当者変更(24)
総合実習 II	4通	2				6	8	7		2	3	平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	

科目	機械知能システム工学実験Ⅰ	3通	2			3 2	2 3				教員負担平準化のため担当者変更(24)	
	機械知能システム工学実験Ⅱ	4通	2			1	3 2		1 2	兼1	平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	
	卒業研究	5通	8			6	8 7		2 3		平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	
	エンジニア総合学習	1-3通	1			1	1 2 +		1 +	兼1	教員負担平準化のため担当者変更(22) 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23) 担任変更のため担当者変更(24)	
	進路セミナー	4通	1				1					
選択科目	生産システム	5前	1				1					
	精密加工	5後	1				1					
	塑性加工	5前	1			1						
	構造計算力学	5後	1				1					
	数値熱流体力学	5前	1				1					
	エネルギー変換工学	5後	1						+		平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	
	環境エネルギー技術	5前	1				1					
	機械振動学	5後	1			1						
	シーケンス制御	5前	1			1						
	デジタル回路	5後	1				1					
	デジタル信号処理	5前	1				1					
	電気電子デバイス	5後	1				1					
	組込みシステム	5前	1						1			
	コンピュータネットワーク	5後	1				1					
	生体工学	5前	1				1					
	ロボットテクノロジー	5後	1						1			
	ナノテクノロジー	5後	1								兼1	
	ソフトウェア工学概論	5前	1								兼1	
	数値解析	5前	1								兼1	
	画像処理	5後	1								兼1	
インターンシップ	4・5通	1					1					
複合工学セミナーⅠ	4・5通	1							2 +	兼2	平成21年3月兼任教員自己都合退職のため(22) 平成22年度報告の訂正(23)	
複合工学セミナーⅡ	4・5通	1								兼2		
特別選択科目	創造セミナー						6 +	8			2	教員負担平準化のため担当者変更(24)
	専門特別セミナー	1・2・3・4・5通	10				6 +	8			2	教員負担平準化のため担当者変更(24)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可

以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
36	25		61	36	25		61	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<建築社会デザイン工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
	工学入門	1通	2			8 5	2 7 6 8			1 2 3		認可申請書別紙1号様式誤記入のため訂正 (正)教授6, 准教授8, 助教2 (誤)教授5, 准教授8, 助教3 平成22年4月専任准教授2名が専任教授に昇任のため(22) 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24)		
	応用数学	4通	2					1				兼1		
	応用物理	4通	2					1						
	情報処理 I	4前	1							1				
	情報処理 II	4後	1							1				
	技術英語	5通	2			3 2	1 1			1			平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	
	創造演習	1通	2			2	1			1 2			平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	
	応用数学演習	5前	1			1								
	基礎製図	1通	2			1	1 1			1			平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	
	設計製図 I	2通	2				2 1			1			平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	
	設計製図 II	3通	2			1	1					兼1	平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)	
	測量学及び同実習 I	1通	2			1	1 2						平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23)	
	測量学及び同実習 II	2通	2			1	1 2						教員負担平準化のため担当者変更(23)	
	地形情報処理	3通	2				1							
	建築一般構造	3通	2			1	1						平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)	
必修 科目	建設材料	2通	2			1								
	土質工学	3通	2				1							
	構造力学 I	2後	1			1	1					兼1	平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 平成24年3月31日退職後、嘱託教授(再雇用)として科目担当(24)	
	構造力学 II	3通	2			1	1					兼1	平成24年3月31日退職後、嘱託教授(再雇用)として科目担当(24)	
	構造力学 III	4通	2			1								
	鉄筋コンクリート工学	4通	2			2 1	1						平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)	
	鋼構造工学	5通	2				1							
	地域及び都市計画	4前	1										兼1	
	環境エネルギーシステム	4後	1							1				
	地球環境工学	5後	1				3							

専門科目	メディア造形	3通	2		1	4	1	平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)
	工学演習	3後	1			1		
	建築社会学実験Ⅰ	3通	2		3 2	3 4		平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)
	建築社会学実験Ⅱ	4通	2		3 2	4 3	4	平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任及び教員負担平準化のため担当者変更(23)
	建築社会学実験Ⅲ	5前	1		2 1	1 2		平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)
	卒業研究	5通	8		8 5	7 6 8	1 2 3	認可申請書別紙1号様式誤記入のため訂正 (正)教授6, 准教授8, 助教2 (誤)教授5, 准教授8, 助教3 平成22年4月専任准教授2名が専任教授に昇任のため(22) 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)
	エンジニア総合学習	1-3通	1		2 1	1		教員負担平準化のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 担任変更のため担当者変更(24)
	進路セミナー	4通	1			1		
	建築環境工学	4通		2		1		
	建築計画Ⅰ	4通		2			1	兼1 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)
建築設計演習Ⅰ	4通		4		1	1 2	兼1 平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)	
建築法規	4前		1				兼1	
建築施工法Ⅰ	4後		1		1	1	兼1 平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)	
計画学	4通		2			1		
水理学	4通		2			1		
地盤工学	4通		2			1		
土木設計演習Ⅰ	4通		2			2		
ITデザイン演習	4通		2			2	1	
建築設備	5前		1		1			
建築施工法Ⅱ	5後		1		1	1	兼1 平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)	
建築構造設計	5通		2				兼1	
建築史	5通		2			1		
建築計画Ⅱ	5前		1		1	1	兼1 平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22)	
建築設計演習Ⅱ	5通		3		1	2 1 2	兼1 平成22年4月専任准教授が専任教授に昇任のため(22) 平成23年4月専任助教が専任准教授に昇任のため(23)	
交通工学	5前		1			1		
河川海岸工学	5通		2		1	1		
環境衛生工学	5通		2		1			
土木施工法	5前		1		2	3		
土木構造設計	5前		1			1		
建築社会学実験Ⅳ	5後		1		1	1		
土木設計演習Ⅱ	5通		2			2		
情報化社会論	5前		1				1	
電気工学演習	5後		1				1	

	ネットワークシステム	5前	1	1	4					認可申請書別紙1号様式誤記入のため訂正(22) (正)教授1,助教0 (誤)教授0,助教1	
	環境情報計測	5後	1	1							
	リモートセンシング	5前	1	1	1						
	環境保全工学	5後	1	1	1						
	防災工学	5前	1	1							
	地域社会工学	5後	1	3	4						
	景観工学	5後	1	1	1	2				平成22年4月専任准教授が専任教員に昇任のため(22)	
	ソフトウェア工学概論	5前	1						兼1		
	数値解析	5前	1						兼1		
	画像処理	5後	1					1			
	インターンシップ	4・5通	1		1						
	複合工学セミナーⅠ	4・5通	1		1				兼1	平成21年3月兼任教員自己都合退職のため(22)	
	複合工学セミナーⅡ	4・5通	1	1					兼1	平成23年4月兼任教員の後任補充のため(23)	
特別 選択 科目	創造セミナー	1・2・ 3・4・5 通	10			8 ↓	7			1	教員負担平準化のため担当者変更(24)
	専門特別セミナー					8 ↓	7			1	教員負担平準化のため担当者変更(24)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
33	40		73	33	40		73	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<生物化学システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	工学入門	1通	2			1	1 2	1	1	1	兼1	平成21年3月専任准教授が自己都合退職のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24)
	応用数学	5通	2								兼1	
	応用物理	5通	2								兼1	
	情報処理 I	4前	1				1					
	情報処理 II	5前	1			1						
	技術英語	4通	2			1	1			1		認可申請書別紙第1号様式誤記入のため訂正(22) (正)教授1,准教授1,助教0 (誤)教授0,准教授1,助教1
	生物工学基礎実習	1通	3			2 1	1 2	1 1		1 2 1		認可申請書別紙第1号様式誤記入のため訂正 (正)教授2,准教授2,助教0 (誤)教授1,准教授2,助教1 平成21年3月専任准教授が自己都合退職及び教員負担平準化のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 平成24年4月助教が講師に昇任、 教員負担平準化のため担当者変更(24)
	生物基礎 I	1通	2				1					
	生物工学演習 I	1後	1			1	1 2 1	1		1		平成21年3月専任准教授が自己都合退職のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者変更(24)
	生物工学実習	2通	2			1	3 2 1 2	1		1		平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 平成24年4月講師が准教授に昇任(24)
	生物基礎 II	2通	2				2 1	1		1 1		平成21年10月専任助教が専任准教授に昇任のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 平成24年4月助教が講師に昇任(24)
	化学基礎	2通	2				2			1		教員負担平準化のため担当者変更(23)
	生物工学演習 II	2後	1			1		1		1 2 1		教員負担平準化のため担当者変更(23) 平成24年4月助教が講師に昇任(24)
	基礎電子工学	3通	2							1	兼1	教員負担平準化のため担当者変更(24)
	工業電子計測	4後	1								兼1	
	制御システム	5後	1			1						
	生化学 I	3通	2			1	2 1			1		認可申請書別紙第1号様式誤記入のため訂正(22) (正)教授1,准教授1,助教0 (誤)教授0,准教授1,助教1 教員負担平準化のため担当者変更(24)

必修科目	生化学Ⅱ	4前	1			2 +			+	平成21年10月専任助教が専任准教授に昇任のため(22)	
	タンパク質化学	4後	1			1					
	環境科学	5通	2			2 +				平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため(22) 平成23年4月専任教授を採用(23)	
	安全工学	5前	1			1					
	生命倫理学	5後	1							兼1	
	細胞生物学	3通	2				1		+	兼1 平成21年10月専任助教が専任准教授に昇任のため(22)	
	基礎微生物学	3通	2				1 +		+	平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 教員負担平準化のため担当者変更(24)	
	分子生物学	4通	2				1			兼1	
	生物化学工学	4通	2			1	1				
	遺伝子工学基礎	5前	1				2 +		+	平成21年10月専任助教が専任准教授に昇任のため(22)	
	微生物工学	5後	1			1					
	バイオ基礎化学	3後	1			1	+			教員負担平準化のため担当者変更(24)	
	有機化学	4通	2			1 +	1			平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため(22) 平成23年4月専任教授を採用(23)	
	分析化学	4通	2			1	1				
	基礎物理化学Ⅰ	4前	1			1					
	化学工学Ⅰ	4後	1						1		
	基礎物理化学Ⅱ	5前	1			1					
	化学工学Ⅱ	5後	1						1		
	専門科目	化学系基礎実験	3通	2			2 +	2			平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため(22) 平成23年4月専任教授を採用(23)
		生物系基礎実験	3通	2			1	2			
情報電子基礎実験		3通	2			1	1		1	兼1 教員負担平準化のため担当者変更(24)	
生物化学基礎実験		4通	4			2 +	2 +		+	認可申請書別紙第1号様式誤記入のため訂正 (正)教授2, 准教授1, 助教1 (誤)教授1, 准教授1, 助教2 平成21年10月専任助教が専任准教授に昇任のため(22)	
創造実験		4通	4			5	7 6 7	1	2 3	認可申請書別紙第1号様式誤記入のため訂正 (正)教授6, 准教授7, 助教2 (誤)教授5, 准教授7, 助教3 平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため 平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 平成22年度報告の訂正(23)	

	生物工学セミナー	5通	2		5	7 6 7	1	2 3	認可申請書別紙第1号様式誤記入のため訂正 (正)教授6,准教授7,助教2 (誤)教授5,准教授7,助教3 平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため 平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 平成22年度報告の訂正(23)
	卒業研究	5通	8		5	7 6 7	1	2 3	認可申請書別紙第1号様式誤記入のため訂正 (正)教授6,准教授7,助教2 (誤)教授5,准教授7,助教3 平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため 平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 平成22年度報告の訂正(23)
	エンジニア総合学習	1-3通	1		2 +			1	教員負担平準化のため担当者変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 担任変更のため担当者変更(24)
	進路セミナー	4通	1			1 +	+		平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 平成24年4月講師が准教授に昇任(24)
選択科目	製図基礎	5前		1					兼1
	プレゼンテーション	5後		1		1			兼1
	プログラミング応用	5前		1					兼1
	データベース概論	5後		1		1			兼1
	パターン認識	5前		1	1				兼1
	電子素子	5後		1					兼1
	生命情報概論	5前		1			1 +	+	兼1 平成22年3月専任准教授が自己都合退職のため担当者変更(22) 平成24年4月講師が准教授に昇任(24)
	材料工学	5後		1		1 +	1		兼1 平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため(22) 平成23年4月専任教授を採用(23)
	医薬品工学概論	5前		1		1 +			兼1 平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため(22) 平成22年度開講なし 平成23年4月専任教授を採用(23)
	食品学概論	5前		1		1			兼1
	応用食品学	5後		1		1			兼1
	細胞機能工学	5後		1			1		兼1
	応用生体分子	5前		1			1 +	+	兼1 平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 平成24年4月講師が准教授に昇任(24)
	分析技術概論	5後		1		1			兼2
	分離技術	5前		1			1		兼1
	技術関連法規概論	5後		1					兼2
	ソフトウェア工学概論	5前		1					兼1
数値解析	5前		1		1			兼1	
画像処理	5後		1					兼1	

	インターンシップ	4・5 通		1			1 +	+			平成22年3月専任准教授が自己都合退職後、後任に専任講師採用のため(22) 平成24年4月講師が准教授に昇任(24)
	複合工学セミナーⅠ	4・5 通		1						兼2	平成22年3月専任教授が自己都合退職後、後任不補充のため(22) 平成22年度開講なし 平成23年4月専任教授を採用(23)
	複合工学セミナーⅡ	4・5 通		1		1 +				兼1	
特別 選択 科目	創造セミナー					4 +	7	1	2		教員負担平準化のため担当者変更(24)
	専門特別セミナー	1・2・ 3・4・5 通		10		4 +	7	1	2		教員負担平準化のため担当者変更(24)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 44	科目 24	科目	科目 68	科目 44	科目 24	科目	科目 68	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<情報通信エレクトロニクス工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	応用数学Ⅰ	4通	2									兼1
	応用数学Ⅱ	5通	2									兼1
	応用物理	4通	2									兼1
	創造基礎工学	1通	2				1 2		1			兼1
	基礎電気学Ⅰ	1通	2			1 1 0	1 0 0		0 1			平成26年4月採用予定で、未着任のため担当者変更(22) 平成22年度報告の訂正(23) 平成26年4月採用予定⑥で、未着任のため教授を准教授に変更(23) 教員負担平準化のため担当者を変更(24)
	基礎電気学Ⅱ	2通	3			1 2 1	1 0		1 1			兼1 平成22年度報告の訂正(23) 平成26年4月採用予定⑥で、未着任のため教授を助教に変更(23) 教員負担平準化のため担当者の追加(24)
	電気磁気学Ⅰ	3通	2			1						
	電気磁気学Ⅱ	4通	2				1					
	電気回路学Ⅰ	3通	2			1						
	電気回路学Ⅱ	4通	2			1						
	電子回路学Ⅰ	3通	2			1						
	電子回路学Ⅱ	4通	2									兼1
	電子工学	3通	2			1 1	1					担当者死亡のため、担当者を変更(23) 教員負担平準化のため担当者を変更(24)
	電子計測	3通	2				1					

専 門 科 目	必 修 科 目	計算機工学 I	2 通	3		0 1 0	1 0	1 1 2	平成22年度報告の訂正 (23)
		計算機工学 II	3 通	2		1 0	1		平成26年4月採用予定⑥で、 未着任のため担当者(教授から 准教授)を変更(23) 担当教員配置換えのため担当 者を変更(23)
		デジタル設計	4 通	2		1 0	1		平成24年4月担当准教授が教 授昇任(24)
		信号処理	5 通	2			1		
		情報基礎工学	1 通	2			1 1	1 1	担当予定教員転出のため新任 教員へ交代(22)
		プログラミング I	2 通	3		2 1 0	1 1	1	平成22年4月昇任により、担 当者(准教授を教授)に変更 (23) 教員負担平準化のため担当者 変更(23) 平成24年4月担当准教授が教 授昇任(24)
		プログラミング II	3 通	2				1	
		応用プログラミング	4 通	2			0 1	1 0	
		ネットワーク工学	5 通	2			1		平成22年度履行状況報告書記 載漏れ(担当予定教員転出の ため新任教員へ交代)(23)
		情報工学理論	4 通	2			1 0	0 1	
		信号伝送工学	4 通	2		1			平成22年度履行状況報告書記 載漏れ(担当者の准教授昇 任)(23)
		通信システム工学	4 通	2		1 0	0 1		
		電磁波工学	5 通	2		1			平成22年度履行状況報告書記 載漏れ(担当者の教授昇任) (23)
		ものづくり基礎	1 通	2		1	1		
		電子通信工学実験 I	3 通	3		2 3 2	1 1 2 2	2 1 0 1	兼 1 平成22年度報告の訂正 (23)

	電子通信工学実験Ⅱ	4通	3			3 2 1	2 1 1	0 1 2 3	<p>平成22年度履行状況報告書記載漏れ（担当予定教員転出のため新任教員へ交代）（23）</p> <p>教員負担平準化のため、担当者を変更（24）</p> <p>平成23年10月担当助教採用（24）</p> <p>平成22年度報告の訂正（23）</p>
	電子通信工学実験Ⅲ	5通	3			1 2 1	2 3	1 0	<p>平成22年度履行状況報告書記載漏れ（担当者の准教授昇任）（23）</p> <p>平成24年4月担当助教が准教授昇任（24）</p> <p>平成24年4月担当准教授が教授昇任（24）</p> <p>兼2</p> <p>担当者死亡のため、担当者の変更（23）</p> <p>平成22年度履行状況報告書記載漏れ（担当者の教授昇任）（23）</p> <p>教員負担平準化のため、担当者を変更（24）</p>
	卒業研究	5通	8			6 5	5 6	2 2	<p>兼3</p> <p>担当者死亡のため、担当者の変更（23）</p> <p>平成22年度履行状況報告書記載漏れ（23）</p> <p>担当者の教授昇任 担当者の准教授昇任 担当者（助教）の採用</p>
	画像処理工学	4通		2			1		<p>平成22年度履行状況報告書記載漏れ（担当者の准教授昇任）</p> <p>兼1</p> <p>兼1</p>
	Webコミュニケーション	4通		2			1		
	メディア工学	5通		2				1 0 1	
	コミュニケーション装置工学	5通		2					
	アナログシステム	5通		2					

選択科目	デジタルシステム	5通	2	1	0	1	平成24年4月担当准教授が教授昇任(24)	
	実装工学	5通	2	1				
	半導体プロセス	4通	2	1	1			担当者死亡のため、担当者の変更(23)
	オプトエレクトロニクス	5通	2	1	1			兼1 担当者死亡のため、担当者の変更(23)
	電子材料	4通	2			1		教員負担平準化のため、担当者を変更(24)
	電気通信法規	5通	1		1			
特別選択科目	専門科目応用第一	1-5通		1	1			
	専門科目応用第二	1-5通		1	1			
	インターンシップ	4通		1	1			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	11	3	46	32	11	3	46	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<制御情報システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	応用数学Ⅰ	4通	2									兼1
	応用数学Ⅱ	5通	2									兼1
	応用物理	4通	2									兼1
	基礎電気学Ⅰ	1通	2				2 ↓ 0		0 ↓ 1			新任教員着任のため、担当者を准教授に変更(22) 科目充実のため、担当者数見直しによる担当者の追加(23)
	制御工学基礎	1通	2			0 ↓ 1	0 ↓ 0		2 ↓ 0			基礎電気学Ⅰの担当変更に伴う担当者の変更(22) 教員負担平準化のため担当者変更(23) 教員負担平準化のため担当者を変更(24)
	情報リテラシー	1通	2			1 ↓ 0	1					科目充実のため、担当者数見直しによる担当者の追加(23)
	制御情報システム概論	1通	2			3 2 ↓ 5 ↓ 1	6 7 ↓ 6 ↓ 8		3 2 ↓ 4			兼2 兼3 兼2 平成22年度報告の訂正(23) 教授未着任のため担当者(教授)の削除(23) 教授未着任のため担当者(教授)の追加(23) 教授未着任のため兼任担当者の追加(23) 後任教員⑦を准教授採用に伴う担当者(准教授)の追加(23) 平成22年4月採用により担当者(助教)を追加(23) 教員負担平準化のため担当者を変更(24) 平成24年3月兼任教授退職(24) 平成24年4月担当准教授が教授昇任(24)

必 修 科 目	基礎電気学Ⅱ	2通	3	1 0	2 1 1 2	0 1 0 0	平成22年度報告の訂正 (23) 年度進行中のため、担当者 (准教授)の変更 (23) 平成24年4月採用予定⑦で、 未着任のため担当者(教授1 名を助教)の変更 (23) 教員負担平準化のため担当 者を変更 (24)
	情報処理	2通	3	0 2 0	1 2 0 1	0 1	平成22年度報告の訂正 (23) 平成26年4月採用予定⑩で、 未着任のため担当者(教授2 名を准教授)の変更 (23) 平成26年4月採用予定⑩で、 未着任のため担当者(教授2 名を准教授)の変更 (23) 教員負担平準化のため担当 者を変更 (24)
	計算機工学Ⅰ	2通	3	1 2 0		0 2	平成22年度報告の訂正 (23) 平成24年4月採用予定⑨で、 未着任のため担当者を変更 (23)
	電気磁気学Ⅰ	3通	2		1		
	電気回路学Ⅰ	3通	2		1		
	電子回路学Ⅰ	3通	2			1	
	計算機工学Ⅱ	3通	2	1 0		1 0 1	兼1 平成22年度報告の訂正 (23) 教員負担平準化のため担当 者を変更 (24)
	プログラミング通論	3通	2	0 1 0	1 0 1		平成22年度報告の訂正 (23) 教員負担平準化のため担当 者を変更 (24)

制御情報システム工学演習	3通	2			1	0		1	教員負担平準化のため担当者を追加(24)
マイクロコンピュータ基礎	3通	2			1	0		0	平成22年度報告の訂正(23)
電気磁気学Ⅱ	4通	2			1	0		1	平成22年度報告の訂正(23)
電気回路学Ⅱ	4通	2					1		
電子回路学Ⅱ	4通	2						1	
組込みシステム基礎論	4通	2					1		
制御工学Ⅰ	4通	2					1		
オペレーティングシステム	4通	2			1	0		1	平成22年度報告の訂正(23)
ハードウェア設計論	4通	2					1		
電子制御回路学	4通	2						1	
制御工学Ⅱ	5通	2			1				
メカトロニクス工学	5通	2							兼1
組込みシステム設計	5通	2					1		
制御工学実験Ⅰ	3通	3			2	5		1	
					1	2		2	
					0	3		2	平成22年度報告の訂正(23)
									教員負担平準化のため担当者を変更(24)
制御工学実験Ⅱ	4通	3			2	2			
					1	2		1	兼1
									平成22年度報告の訂正(23)
制御工学実験Ⅲ	5通	3			2	2			
					0	3		1	兼1
									平成22年度報告の訂正(23)
卒業研究	5通	8			5	6		2	
					1	8		4	兼2
									平成22年度報告の訂正(23)
計測工学	4通		2				1		
プログラミング特論	4通		2				1		
信号処理	4通		2				1		
通信工学	4通		2		1	0			
					0	1			平成22年度報告の訂正(23)

選 択 科 目	バイオメカニクス	5通		2				1	
	人間工学	5通		2			1		
	ソフトコンピューティング	5通		2			1		
	生体情報工学	5通		2		1			
	画像処理工学	5通		2			1		
	音響工学	5通		2			1		
	自律分散システム	5通		2			1		
	オブジェクト指向プログラム	5通		2			1		
	ソフトウェア設計	5通		2			1		
特 別 選 択 科 目	専門科目応用第一	1-5通			1	1			
	専門科目応用第二	1-5通			1	1			
	インターンシップ	4通			1	1			

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	13	3	48	32	13	3	48	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)
- ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<人間情報システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	応用数学Ⅰ	4通	2									兼1
	応用数学Ⅱ	5通	2									兼1
	応用物理	4通	2									兼1
	基礎電気学Ⅰ	1通	2			1 0 1	1 2 0					学年進行中で、旧課程の担当科目との時間調整のため、担当者を教授から准教授に変更(22) 実験を一部実施のため、担当者を一名追加(22) 平成24年4月担当准教授が教授に昇任(24)
	基礎電気学Ⅱ	2通	3			1	0					兼1 兼担1を、准教授に変更(23)
	情報工学基礎	1通	2			1	1 1			1 1		情報リテラシーの担当変更に伴う担当者の変更(22) 学年進行中で、旧課程の担当科目との時間調整のため、担当者を教授から准教授に変更(22) 高専間人事交流による担当者の変更(24)
	情報リテラシー	1通	2			1				1		基礎電気学Ⅰへ一名追加したため、助教の担当者を変更(22)
	計算機工学	2通	3			2 1 0	0 0 1					学年進行中で、旧課程の担当科目との時間調整のため担当者を准教授から教授に変更(23) 教員負担平準化のため、担当者を追加(24)
	情報処理	2通	3			1 0 0	1 0 0			0 1 2		平成22年度報告の訂正(23) 平成24年4月採用予定准教授⑤で、未着任のため教授に変更(23)
	電気回路学	3通	2			1 0 0	0 1 1				1	平成24年4月担当准教授が教授昇任(24)

専 門 科 目	必 修 科 目	電子回路学	3通	2				0	兼1 教員負担平準化のため、担当 者を変更 (24)	
		コンピュータアーキテクチャ	3通	2			0 1 0	0 1	兼1 平成22年度報告の訂正 (23) 教員負担平準化のため、担当 者の変更 (24)	
		プログラミング言語	3通	2		1				
		プログラミング演習	3通	2			1 0	0 1		平成23年4月担当助教が准教 授昇任 (24)
		ネットワーク技術	3通	2		1				
		システム工学概論	3通	2		1 0	0 1			高専間人事交流による担当 者の変更 (24)
		信号処理	4通	2		1				
		応用電子回路	4通	2						兼1
		マイクロコンピュータ	4通	2			1			
		電気磁気学	4通	2			1			
		データ構造とアルゴリズム	4通	2			1 0	0 1		平成22年度報告の訂正 (23)
		情報ネットワーク	4通	2					1	
		オペレーティングシステム	4通	2			1			
		人間環境工学	4通	2			1			
		統計解析	5通	2		1				
		情報数学	5通	2		1		1	0	
		情報理論	5通	2			0		1	平成22年度報告の訂正 (23)
		創造基礎実験	1通	2			2	1	0 1	平成22年度報告の訂正 (23)
		情報工学実験 I	3通	3			2 0	2 2	1 2	平成24年4月担当助教が准教 授昇任 (24) 教員負担平準化のため、担当 教授を追加 (24)
		情報工学実験 II	4通	3		1	4	1	2	平成22年度報告の訂正 (23)
情報工学実験 III	5通	3		4	0					
卒業研究	5通	8		6 5	6 6	1 2	4	兼2 平成22年度報告の訂正 (23)		

											平成24年4月担当准教授が教授昇任 (24) 平成24年4月担当助教が准教授昇任 (24)
選択科目	ソフトウェア工学	4通		2			1				
	数値計算論	4通		2		1					
	ヒューマンメディア工学	4通		2		1					
	形式言語とオートマトン	5通		2		1					
	データベース	5通		2		1					
	システムプログラミング	5通		2					1		
	数理情報工学	5通		2			1				
	線形システム工学	5通		2		1					
	情報環境工学	5通		2		1					
	ヒューマン情報処理	5通		2			1				
	福祉・教育工学	5通		2			1				
	認知情報工学	5通		2							兼1
	特別 科目 選択	専門科目応用第一	1-5通			1	1				
専門科目応用第二		1-5通			1	1					
インターンシップ		4通			1	1					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	12	3	47	32	12	3	47	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 (該当なし)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費（学校全体で記載）

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	駐車場面積の記入漏れのため(22)		
	校舎敷地	91,774㎡	0㎡	0㎡	91,774㎡			
	運動場用地	98,250㎡	0㎡	0㎡	98,250㎡			
	小 計	190,024㎡	0㎡	0㎡	190,024㎡			
	そ の 他	3,940 0㎡	0㎡	0㎡	3,940 0㎡			
	合 計	193,964 190,024㎡	0㎡	0㎡	193,964 190,024㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	32,862㎡ (32,862 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	32,862㎡ (32,862 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	ICT活用学習センター改修により1室増(24)		
	54室	5室	74室	15 14 室 (補助職員 0人)	2室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の採用及び専任教員室の見直しのため(24)		
	機械知能システム工学科			16	室			
	建築社会デザイン工学科			16	室			
	生物化学システム工学科			15	室			
	情報通信エレクトロニクス工学科			16 13	室			
	制御情報システム工学科			14 13	室			
	人間情報システム工学科			15 13	室			
	八代キャンパス共通教育科			21	室			
	熊本キャンパス共通教育科			18 17	室			
	計			131 124	室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌、視聴覚資料は、新規購入に伴う増、機械・器具は認可申請書様式第2号記入漏れ及び新規購入に伴う増(22) 新規購入に伴う増、購入見直し及び廃棄処分等に伴う減(23) 蔵書点検を行った結果、蔵書数に減が生じたため修正(24) 図書は、新規購入に伴う増、学術雑誌及び視聴覚資料は、購入見直しに伴う減 機械・器具は認可申請書様式第2号記入漏れ及び新規購入に伴う増(22) 新規購入に伴う増(23) 図書、視聴覚資料は新規購入に伴う増、学術雑誌は、購入見直しに伴う減、うち電子ジャーナルは記入漏れ(24)
	熊本高等専門学校 八代キャンパス	59,304 [2,349] 61,000 [7,010] 59,334 [6,877] 58,697 [6,829]	261 [24] 254 [22] 277 [24] 289 [29]	2,128 [2,128] 2,028 [2,028] 1,057 [1,057]	412 397 378	2,523 2,398 0	0	
		(59,304 [2,349]) (61,000 [7,010]) (59,334 [6,877]) (58,697 [6,829])	(261 [24]) (254 [22]) (277 [24]) (289 [29])	(2,128 [2,128]) (2,028 [2,028]) (1,057 [1,057])	(412) (397) (378)	(2,523) (2,398) (0)	(0)	
	熊本キャンパス	74,843 [5,027] 73,216 [4,944] 71,468 [4,901] 66,000 [4,000]	49 [8] 90 [15] 102 [12]	49 [8] 0 [0]	1,840 1,822 2,000	2,211 0	0	
		(74,843 [5,027]) (73,216 [4,944]) (71,468 [4,901]) (66,000 [4,000])	(49 [8]) (90 [15]) (102 [12])	(49 [8]) (0 [0])	(1,840) (1,822) (2,000)	(2,211) (0)	(0)	
計	134,147 [7,376] 134,216 [11,954] 130,802 [11,778] 124,697 [10,829]	310 [32] 344 [37] 367 [39] 391 [41]	2,177 [2,136] 2,128 [2,128] 2,028 [2,028] 1,057 [1,057]	2,252 2,234 2,219 2,378	4,734 4,609 0	0		
	(134,147 [7,376]) (134,216 [11,954]) (130,802 [11,778]) (124,697 [10,829])	(310 [32]) (344 [37]) (367 [39]) (391 [41])	(2,177 [2,136]) (2,128 [2,128]) (2,028 [2,028]) (1,057 [1,057])	(2,252) (2,234) (2,219) (2,378)	(4,734) (4,609) (0)	(0)		

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	3,302㎡		160		98,000				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4,919㎡		野球場 2 面 テニスコート 9 面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	「国費による」
		教員 1 人 当り 研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 24 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設高専等の状況

大学の名称	熊本高等専門学校								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
情報通信エレクトロニクス工学科	5	40	—	200	準学士	(1.07)	平成21年度	<熊本キャンパス> 熊本県合志市須屋 2659-2 <八代キャンパス> 熊本県八代市平山新町 2627	
制御情報システム工学科	5	40	—	200	準学士	(1.07)	平成21年度		
人間情報システム工学科	5	40	—	200	準学士	(1.05)	平成21年度		
機械知能システム工学科	5	40	—	200	準学士	(1.06)	平成21年度		
建築社会デザイン工学科	5	40	—	200	準学士	(1.07)	平成21年度		
生物化学システム工学科	5	40	—	200	準学士	(1.05)	平成21年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

(2) 専任教員数

<機械知能システム工学科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	7	0	3	16	0	6	8	0	2	16	0	
(6)	(7)	(0)	(3)	(16)	(0)	[0]	[1]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	

<建築社会デザイン工学科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	8	0	2	16	0	8	7	0	1	16	0	
(7)	(8)	(0)	(2)	(17)	(0)	[2]	[Δ1]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	

<生物化学システム工学科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	7	0	2	15	0	4	7	1	2	14	0	
(5)	(5)	(0)	(2)	(12)	(0)	[Δ2]	[0]	[1]	[0]	[Δ1]	[0]	

<情報通信エレクトロニクス工学科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	6	0	2	13	0	5	5	0	2	12	0	
(4)	(6)	(0)	(2)	(12)	(0)	[0]	[Δ1]	[0]	[1]	[0]	[0]	教授1名の死亡による教員数減1 (23)

<制御情報システム工学科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	6	0	2	13	0	3	6	0	3	12	0	
(1)	(6)	(0)	(2)	(9)	(0)	[Δ2]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	

<人間情報システム工学科>

認可時の計画						変更後						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	6	0	2	13	0	6	6	0	1	13	0	
(5)	(4)	(0)	(2)	(11)	(0)	[1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	

<八代キャンパス 共通教育科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
4	10	7	0	21	0	6	10	4	1	21	0	
(5)	(10)	(5)	(0)	(20)	(0)	[2]	[0]	[Δ3]	[1]	[0]	[0]	

<熊本キャンパス 共通教育科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
8	6	3	0	17	0	7	7	1	2	17	0	
(5)	(8)	(3)	(0)	(16)	(0)	[Δ1]	[1]	[Δ2]	[2]	[0]	[0]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

6 留意事項に対する履行状況等

区分	留意事項	履行状況	未履行事項についての実施計画
認可時 (20年12月)	<p>1. 統合する両高等専門学校 の教育研究資源の有効活用及 び教育内容の整備に留意し、 統合の趣旨・目的等が活かさ れるよう、両高等専門学校が 連携して、開設に向けた諸準 備（教員組織、教育課程の整 備等）を円滑に進めるととも に、開設後は設置計画を确实 に履行すること。</p>	<p>統合の趣旨・目的を達成する ため、新高専の教職員組織、 運営体制及びPDCAサイク ル等を明確化し、内外に周知 するとともに、関連する規則 について、随時、共通化を 図っている。また、センター 活動の推進、専攻科充実、教 育課程の整備等具体的な活動 についても、それぞれの担当 部署において両キャンパス間 の協議や連携活動が推進され ている。(22)</p> <p>統合による設置計画の履行に 向けて、学校運営のPDCA サイクルの構築、全学委員会 等の規則整備、入学試験の実 施・学生募集活動の一体化、 平成23年度入学式の共同実 施、新設の3センターの両 キャンパス教職員連携による 運営など両キャンパスの共通 化を継続して図っている。 (23)</p> <p>統合による設置計画の履行に ついては、既設学科との連動 を踏まえて学年進行に伴う教 育課程の整備などを両キャン パス間で協議し、実行してい る。両キャンパス間の教員組 織の融合・共通理解を図るた め、両キャンパス合同のFD 研修会を実施した。また3セ ンターごとに両キャンパスを 通じた各種事業を展開し、実 績を積んでいる。(24)</p>	<p>平成23年度からの入学式の共 同実施、平成24年度からの学 生服の共通化を初め、今後も 各種制度、規則等について、 共通化を図り、統合の趣旨・ 目的を達成するよう、着実に 設置計画を履行していく予定 である。(22)</p> <p>教員及び学生のキャンパス間 交流をさらに活発にするため のシステムについて関係委員 会等において、今後さらに検 討していく予定である。(23)</p> <p>教員研修、1,2年生合同研修な ど教員および学生の両キャン パス間の交流活発化を図ると ともに、各種行事・業務等 での両キャンパス関係委員会 による検討を引き続き実行してい く予定である。(24)</p>
	<p>2. 各地域ブロックの拠点と して地域貢献や産学連携を行 う地域人材開発本部等の各種 センターを設置するにあつて は、高等専門学校の本分で ある学科の教育に支障がない よう、学科・専攻科・セン ターそれぞれにおける教職員の 負担に留意すること。</p>	<p>新設の3センターに専任教員 を配置し、地域貢献や産学連 携を強化する一方で、学科の 教育に支障が生じないよう、 新高専の教育課程が完成する までの移行期間については、 教員負担の平準化のために、 担当科目を調整するととも に、科目によっては一時的に 非常勤講師を採用し負担を軽 減している。(22)</p> <p>一部の教員へ負担が集中し学 科の教育等に支障が生じない ように、今年度も教員の授業 担当の調整を行い、授業負担 の平準化を継続して行った。 (23)</p>	<p>今後も、新高専の教育課程完 成までの移行期間について は、全学的な協力体制の下、 一部の教職員に負担が集中し ないよう、年度毎に調整を行 うものとする。(22)</p> <p>授業負担の平準化を継続しな がら、学校運営のための各種 委員会等の業務合理化・見直 しに向けた検討、新設の3セ ンターの活動における将来構 想（中期活動計画）の検討な ど教職員の負担軽減に向けた 取り組みを実施する。(23)</p>

	<p>3. 統合に伴う両キャンパス間の一般科目の均質性・均等性についてはかなり改善をされているが、一部の科目で科目名称が同一にも関わらず単位数が異なっているなど、開講している科目の内容に差異がある。一般科目の受講機会のアバランスや内容の差異がなくなるよう努めること。</p>	<p>一部の教員へ負担が集中し学科の教育等に支障が生じないように、前年度に引き続き今年度も教員の授業担当の調整を行い、授業負担の平準化を継続して行った。(24)</p> <p>以下のような項目を見直し、一般科目のカリキュラムを修正している。</p> <p>(1)「国語Ⅰ」、「国語Ⅱ」見直し基本となる内容と単位数を各学科で共通化し、発展部分を分割する。その結果、国語系科目は国語Ⅰ・国語Ⅱ・国語Ⅲと1年から3年まで全学科共通化される。</p> <p>◎情報通信エレクトロニクス工学科、制御情報システム工学科、人間情報システム工学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語Ⅰ(3単位)を国語Ⅰ(2単位)と国語演習Ⅰ(1単位)に分割 ・ 国語Ⅱ(3単位)を国語Ⅱ(2単位)と国語演習Ⅱ(1単位)に分割 <p>◎機械知能システム工学科、建築社会デザイン工学科、生物化学システム工学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語Ⅰ(2単位)そのまま ・ 国語Ⅱ(2単位)そのまま <p>(2)「倫理」見直し単位数の違いに合わせて、科目名称・授業内容を変更する。</p> <p>◎情報通信エレクトロニクス工学科、制御情報システム工学科、人間情報システム工学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倫理(2単位)を、倫理A(2単位)に名称変更 <p>◎機械知能システム工学科、建築社会デザイン工学科、生物化学システム工学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倫理(1単位)を、倫理B(1単位)に名称変更(22) <p>改正されたカリキュラムを学年進行に合わせて実行している。(23)</p> <p>改正されたカリキュラムを学年進行に合わせて実行している。(24)</p>	<p>授業負担の平準化を継続しながら、学校運営の各種委員会等の業務合理化の検討、新設の3センターの活動における将来構想(中期活動計画)の検討など、前年度に引き続き、教職員の負担軽減に向けた取り組みを実施する。(24)</p> <p>左記のように、科目内容についての差異は解消し、科目数についても改善されており、今後は学年進行に伴い、これらを着実に実行していく予定である。(22)</p> <p>改正されたカリキュラムを学年進行に合わせて着実に実行していく予定である。(23)</p> <p>引き続き、改正されたカリキュラムを学年進行に合わせて着実に実行していく予定である。(24)</p>
<p>設置計画履行状況調査時(23年2月)</p>	<p>「該当なし」</p>		

設置計画履行状況 調査時 (24年2月)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調査時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
「該当なし」	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>○熊本高等専門学校地域PBL・総合教育センター規則 (趣旨)</p> <p>第1条 この規則は、熊本高等専門学校内部組織規則（以下「内部組織規則」という。）第10条第5項の規定に基づき、熊本高等専門学校PBL・総合教育センター（以下「センター」という。）に関し必要な事項を定める。</p> <p>(目的)</p> <p>第2条 センターは、PBL利用教育、国際化教育、地域との連携教育、キャリア教育等により、熊本高等専門学校が目指す新しい技術者教育の高度化及び九州・沖縄地区の国立高等専門学校の教員の資質の向上を図り、かつ、その成果を他の国立高等専門学校及び地域の教育機関等に普及することを目的とする。</p> <p>(業務)</p> <p>第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) PBL利用教育の推進に関すること。 (2) 国際化教育の推進に関すること。 (3) 職業観の涵養及びキャリア教育の推進に関すること。 (4) 科学技術教育の支援に関すること。 (5) その他高専教育の推進に関すること。 <p>(事業部)</p> <p>第4条 センターに、次に掲げる事業部を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) PBL利用教育事業部 (2) 国際化教育事業部 (3) キャリア教育推進事業部 (4) 科学教育支援事業部 <p>2 事業部に関し必要な事項は、別に定める。</p> <p>(職員)</p> <p>第5条 センターに、次に掲げる職員を置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) センター長 (2) 副センター長 (3) センターの専任教員（以下「専任教員」という。） (4) 内部組織規則第10条第4項の規定により設置するPBL総合・教育センター熊本キャンパス委員会及びPBL総合・教育センター八代キャンパス委員会の委員（前3号に掲げる者を除く。） (5) その他必要な職員 若干名 <p>2 センター長及び副センター長（以下「センター長等」という。）は、校長が指名する。</p> <p>3 センター長は、校長の命を受け、センターの業務を掌理する。</p> <p>4 副センター長は、センター長の命を受け、その業務を補佐する。</p> <p>5 センター長等の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>6 第1項第5号の職員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>(専任教員)</p> <p>第6条 専任教員は、校長が指名する。</p> <p>2 専任教員は、センターの業務に従事する。</p> <p>(事業部長及び副事業部長)</p> <p>第7条 事業部に、事業部長及び副事業部長を置く。</p> <p>2 事業部長は、事業部の業務を統括する。</p> <p>3 副事業部長は、事業部長を補佐する。</p> <p>4 事業部長及び副事業部長は、第5条第1項各号の職員のうちから、センター長の推薦に基づき、校長が任命する。</p> <p>5 事業部長及び副事業部長の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。</p> <p>(センターの運営)</p> <p>第8条 センターの運営に関する事項は、内部組織規則第10条第4項の規定により設置する熊本高等専門学校PBL・総合教育センター運営委員会において、審議する。</p> <p>(事務)</p> <p>第9条 センターの事務は、学生課及び学務課において処理する。</p> <p>(雑則)</p> <p>第10条 この規則に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。</p>

○熊本高等専門学校八代キャンパス教務委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、熊本高等専門学校八代キャンパス内部組織規則第3条第2項の規定に基づき、熊本高等専門学校八代キャンパス教務委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、八代キャンパスに係る次に掲げる事項を審議する。

- (1) 年間教育計画及び授業時間割の編成に関する事。
- (2) 学校行事に関する事。
- (3) 学生の身分に関する事。
- (4) 試験及び学業成績に関する事。
- (5) 出欠席の取扱い及び指導要録に関する事。
- (6) 教育改善の実施に関する事。
- (7) 教育活動に関する点検及び改善に関する事。
- (8) その他教務に関する事。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 八代キャンパスの教務主事
- (2) 専攻科長又は副専攻科長
- (3) 八代キャンパスの学科及び共通教育科から選出された教員 各1名
- (4) 学務課長補佐
- (5) 学務係長

2 前項第3号の委員は、校長が任命する。

(任期)

第4条 前条第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、教務主事をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、学務課において処理する。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

○熊本高等専門学校八代キャンパス学生委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、熊本高等専門学校八代キャンパス内部組織規則第3条第2項の規定に基づき、熊本高等専門学校八代キャンパス学生委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、八代キャンパスに係る次に掲げる事項を審議する。

- (1) 課外活動に関する事。
- (2) 学生会及びその他の学生団体に関する事。
- (3) 入学金及び授業料減免に関する事。
- (4) 奨学金に関する事。
- (5) 保健及び生活指導に関する事。
- (6) 賞罰に関する事。
- (7) 学生委員会活動に関する点検及び改善に関する事。
- (8) その他厚生補導及び学生支援に関する事。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 八代キャンパスの学生主事
- (2) 八代キャンパスの学科及び共通教育科から選出された教員 各1名
- (3) 学生係長

2 前項第2号の委員は、校長が任命する。

(任期)

第4条 前条第1項第2号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学生主事をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、学務課において処理する。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

○熊本高等専門学校熊本キャンパスFD推進委員会規則

(設置)

第1条 熊本高等専門学校熊本キャンパス（以下「本キャンパス」という。）に、FD推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(定義)

第2条 この規則においてFD（ファカルティ・ディベロップメント）とは、教員の教育内容及び教育方法を改善し、資質と能力を高めるための組織的かつ継続的な取り組みをいう。

(目的)

第3条 委員会は校長の諮問に応じ、FDについて本キャンパスの基本事項を審議し、対応策を決め、教員の意識改革の推進を図るとともに、本キャンパスにおける教育機能の充実に寄与することを目的とする。

(審議事項)

第4条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 公開研究授業、研究会・研修会活動の企画及び実施に関すること。
- (2) 学生による授業評価の実施に関すること。
- (3) 教材開発に関すること。
- (4) その他教育内容及び方法の改善に関すること。

(組織)

第5条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 各学科及び共通教育科から選出された教員 各1名
- (2) 教務主事補から選出された教員 1名
- (3) 専攻主任又は専攻副主任から選出された教員 1名
- (4) 学生課長
- (5) その他校長が必要と認めた者

2 前項第1項第1号、第2号、第3号及び第5号の委員は、校長が任命する。

(任期)

第6条 前条第1項第1号、第2号、第3号及び第5号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員を生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第7条 委員会に委員長を置き、校長が指名する委員をもって充てる。

2 委員長は委員会を召集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(定足数及び議決数)

第8条 委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ議事を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第9条 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(他の委員会等との連携)

第10条 委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本校におけるFDの推進活動を補完し合うものとする。

(報告)

第11条 委員長は、授業評価アンケート、授業視察・授業参観及び授業改善計画書等FD活動の結果を校長に報告するものとする。

(指導・助言)

第12条 校長は前条の報告を基に、必要に応じ、教員に教育の内容及び方法の改善について指導・助言を行う。

(事務)

第13条 委員会に関する事務は、学生課において処理する。

(雑則)

第14条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・PBL・総合教育センター：隔週1回（センター長、副センター長、事業部長、副部长、学科選出教員）
- ・教務委員会：毎週1回（教務主事、専攻科長、各学科選出教員5名）
- ・学生委員会：毎週1回（学生主事、各学科選出教員5名）
- ・FD推進委員会：月1回程度（各学科選出教員5名、教務主事補1名、専攻主任1名、学生課長）

c 委員会の審議事項等

・PBL・総合教育センターPBL利用教育推進部会

(1) PBL利用教育推進を目的とした研修に関すること。

・PBL・総合教育センターキャリア教育推進事業部会

(1) キャリア教育に関する教員の資質向上のための研修に関すること。

・教務委員会

- (1) FD研修会実施の企画・立案及び点検・評価に関する事項
- (2) 授業アンケート実施の企画・立案、調査・集計及び結果のまとめに関する事項
- (3) 授業モニタリングの企画・立案及び点検・評価に関する事項
- (4) 新任教員研修の企画・立案及び報告書の作成に関する事項

・学生委員会

(1) 学生の厚生補導及び学生の特別指導に関する事項

・FD推進委員会

- (1) 公開研究授業、研究会・研修活動の企画に関する事項
- (2) 学生による授業評価の実施に関する事項
- (3) 教材開発に関する事項
- (4) その他教育改善に必要な事項

② 実施状況

- a 実施内容
 - ・PBL利用教育推進を目的とした研修
 - ・キャリア教育に関する教員の資質向上のための研修会
 - ・教育に関する教員の資質向上のためのFD研修会
 - ・教員相互の授業モニタリング（授業研究）
 - ・新任教員の教務研修
 - ・学生の厚生補導及び学生の特別指導に関する研修
 - ・共通教育に係る課題に関する研修会
 - ・公開授業の実施

- b 実施方法
 - ・PBL利用教育推進を目的とした研修：外部講師による講演、事例紹介及び意見交換
 - ・キャリア教育に関する教員の資質向上のための研修会：ワークショップ
 - ・教育に関する教員の資質向上のためのFD研修会：外部講師による講演、事例紹介、意見交換及びまとめ発表
 - ・教員相互の授業モニタリング（授業研究）：教員全員が期間中1回以上モニタリング（授業見学、モニタリングカードの作成）を行い、教員相互間の授業を参観
 - ・新任教員の教務研修：校長講話、教務主事を中心に教務関係業務等の説明及び質疑応答
 - ・学生の厚生補導及び学生の特別指導に関する研修：外部講師による講演、意見交換
 - ・共通教育に係る課題に関する研修会：外部講師による講演、事例紹介、意見交換及びまとめ発表
 - ・公開授業：保護者及び教員を対象にした授業公開

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・PBL利用教育推進を目的とした研修：学生の主体的な主体的な学び研修会：23.6.22（30名）、23.11.8(35名)、24.3.12(30名)
 - ・キャリア教育に関する教員の資質向上のための研修会：キャリア教育研修会：24.3.23-24(29名)
 - ・教育に関する教員の資質向上のためのFD研修会：教員FD研修会：23.8.29(99名)
 - ・教員相互の授業モニタリング（授業研究）：授業モニタリング：23.12.9-21(62名)
 - ・新任教員の教務研修：新任の教員教務研修：23.4.1(3名)、23.10.1(1名)
 - ・学生の厚生補導及び学生の特別指導に関する研修：厚生補導研修会：23.6.15(40名)、23.9.20(44名)
 - ・共通教育に係る課題に関する研修会：共通教育科合同研修会：23.8.29-30(40名)
 - ・公開授業：保護者を対象した授業公開（授業参観）：23.4.29、23.10.27
：教員を対象にした授業公開：23.4.29、23.1.27、24.1.11-24

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・教員の資質向上に繋がる教員向け研修会の実施や、PBL利用教育と関連する教育事例発表会、学会等発表会の実施に向けた企画を継続して行う。
 - ・教員の資質向上を目的とした学外のFD研修等に教員を積極的に派遣することを継続して行う。
 - ・公開授業及び授業評価に対する意見交換・改善提案を、教育改善グループで継続して討論を重ねる。

③ 学生に対する授業アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
 - ・教務委員会、FD推進委員会で実施
 - (1)学生を対象にした授業評価アンケート：23.8.4-8.10、23.8.8-12、24.2.3-25
 - (2)公開授業（授業参観）後の保護者を対象にした授業アンケート：23.4.29(152名)
 - ・PBL・総合教育センターPBL利用教育推進部会で実施
 - (3)主体的学び学生アンケート：23.9.26-10.14(1,534名)

- b 教員や学生への公開状況、方法等
 - (1)学生を対象にした授業評価アンケート：結果を集計後、教員アンケート結果をフィードバックするとともに、教員は授業改善レポートを提出し、学内でレポートを公開した。
 - (2)公開授業（授業参観）後の保護者を対象にした授業アンケート：アンケート結果を集計し、教員会で公開した。
 - (3)主体的学び学生アンケート：結果を集計後、「学生のやる気が出る授業形態」、「学生が評価する良い授業」について解析を行い、学内で公表した。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・熊本高等専門学校（以下「熊本高専」という。）では、学校教育法第109条のに基づき、本校の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、熊本高専自己点検評価委員会を設置し、自ら点検及び評価を行い、その結果を本校のHPで広く社会へ公表している。第2期熊本高専中期目標・中期計画（平成21年4月1日～平成26年3月31日）を基に、各年度の年度計画を策定し、当該年度末に熊本高専自己点検評価委員会により年度計画の点検結果、次年度に向けた課題及び年度計画に対する達成度等を点検し、その都度、本校のHPで公開している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成22年12月26日 公表

b 公表方法

・前年度に継続して、平成23年度熊本高専年度計画の点検結果、次年度に向けた課題及び年度計画に対する達成度を本校ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成18年度に八代高専と熊本電波高専は機関別認証評価（大学評価・学位授与機構）の評価を受けた。
・熊本高専は平成27年度又は平成28年度に機関別認証評価（大学評価・学位授与機構）の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (提出後、速やかに公表する。)